NEWS RELEASE

2025 年 11 月 28 日
株式会社 ENEOS マテリアル

ENEOS マテリアル、新計器室棟が竣工　2026 年 4 月より本格稼働へ
～安全・快適な職場環境で、業務効率化と現場連携を強化～

外観写真：ENEOS マテリアル新計器室棟（四日市工場内）

株式会社 ENEOS マテリアル（本社：東京都港区、代表取締役社長：志賀 智）は、四日市工場内において建設を進めていた、プラント設備の運転を監視・制御するための分析・計測機器や制御システムを集中して設置する新計器室棟が竣工し、2026 年 4 月の本格稼働を予定していることをお知らせします。

本施設は、老朽化した複数の計器室（1960 年代に竣工）を 1 つの計器室として更新し、作業環境の改善と業務効率の向上を目的として整備したものです。従業員が安全かつ快適に働ける新たな拠点として 2026 年 4 月より運用を開始します。

■ 現場に寄り添う“人に優しい設計”
新計器室棟は、製造部の中核機能を担い、分析・計測業務の効率化と部門間の連携強化を図ります。1 階には計器室を配置し、機器配置や動線を最適化。2 階には日勤部門の事務室と会議スペース、3 階には製造部の中核機能を配置し、階層間での情報共有をスムーズに行える構成としています。

株式会社 ENEOS マテリアル
〒105-7109 東京都港区東新橋一丁目５番２号 汐留シティセンター　www.eneos-materials.com

内装には木目調の床や落ち着いた色調のデスクを採用し、誰もが安心して働ける空間デザインとしています。更衣室や休憩室も充実させ、従業員の声を反映した“人に優しい職場づくり”を追求しています。

■ 安全性・耐震性の強化と快適環境の実現

十分な耐震性能を備え、高い安全性を確保するとともに、空調・照明などの省エネ性能にも配慮しています。また、ミーティングスペースやコミュニケーションエリアを拡充し、部門間の意見交換を促進。職場全体の風通しを高めるレイアウトとしました。

■ ENEOS マテリアルの象徴的な建物へ

外観はグレーを基調に、ENEOS を象徴するオレンジのアクセントラインを採用（写真参照）。正門正面という立地も相まって、夜間はロゴと照明が映えるシンボリックな存在となっています。ENEOS グループは、健全な職場環境の確立として「私たちは、相互の対話および円滑な意思疎通を通じて、働きやすい職場環境を確保・維持するよう努めます。」を掲げており、本施設はその象徴的プロジェクトです。

新計器室棟の稼働を機に、IoT 技術を活用して分析・運転管理のデータ連携を強化し、業務効率化を進めます。ENEOS マテリアルは、現場と人をつなぐ新たなワークプレイスの整備を通じて、生産性と安全性の両立を実現してまいります。

夜間外観写真：ENEOS マテリアル新計器室棟（四日市工場内）

【施設概要】

所在地	三重県四日市市
構造	鉄骨造３階建
主な設備	計器室、会議室、分析室、更衣室、休憩スペース
竣工日	2025 年 10 月 24 日
本格稼働開始	2026 年４月予定
特徴	耐震性能向上、快適･安全設計、 コミュニケーション重視デザイン

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社 ENEOS マテリアル　広報・サステナビリティ推進部
〒105-7109　東京都港区東新橋一丁目 5 番 2 号
TEL：03-6693-2658